

セミナー「交通シミュレーションの新たな展開」

交差点や駐車場などの計画にあたって、周辺道路の交通状況を自動車一台一台の挙動にまでさかのぼって再現し、施設の新設・改良に伴う影響を見るための道具としてミクロ交通シミュレーションの開発と応用が進められています。

今回のセミナーは、我が国のミクロ交通シミュレーションの開発を先導する3つのグループがジョイントし、交通シミュレーション技術の一層の普及・発展を期して交通シミュレーションの研究開発及び応用の現状と今後の展開について紹介するものです。

応用例を中心にした実践的な内容です。研究開発に携わる方々だけでなく、交通計画や交通管理の実務に携わる方々の参加をお待ちしております。

記

日時 : 平成13年8月30日 (時間未定)

場所 : 中央復建コンサルタンツ株式会社本社8階 C F K ホール
大阪市淀川区西宮原1-8-29 (新大阪駅下車徒歩10分)

主催 : VISITOK研究会 (代表 流通科学大学教授 森津秀夫)

プログラム (予定) : (入場無料)

1. 基調講演「ミクロ交通シミュレーションの概要と動向」
流通科学大学教授 森津秀夫

2. VISITOKの応用事例紹介 (VISITOK研究会^{注)})

流通科学大学教授の森津が開発したVISITOKについて
下記の応用事例を紹介する。

- ・ 交差点改良におけるミクロシミュレーションの適用
- ・ 大規模小売店舗の駐車場検討の一例
- ・ 都心部における交通計画評価ツールとしての活用
- ・ LRT導入計画における分析・評価ツールとしての活用
- ・ 立体交差事業における分析・評価ツールとしての活用

^{注)} 富士通FIP㈱、八千代エンジニアリング㈱、中央復建コンサルタンツ㈱

3. 実務におけるミクロシミュレーション利用の現状と課題
~ AVENUEの適用事例を通して ~ (堀口 良太^{注)})

AVENUEは東京大学生産技術研究所を中心とする研究グループで開発され、1993年から実務で利用されている街路網を対象としたシミュレーションモデルである。セミナーでは、これまでのAVENUE適用事例を類型化し、適用の実態を紹介する。また、実務での交通検討の流れを追いながら、シミュレーションが共通して抱える課題を指摘し、これからの商用シミュレーションのあり方を議論する。

注) (株)アイ・トランスポート・ラボ、東京大学生産技術研究所民間研究員

4. 実用段階となったミクロ交通シミュレーションによる業務支援 (埼玉大学工学部 坂本 邦宏)

tiss-NETは埼玉大学で独自に開発されてきたミクロ交通シミュレーションモデルである。特に駐車場問題や交差点処理など街路シミュレーション分析・アセスメント分析を対象として開発され、研究目的を主体としながらコンサルタント実務でも利用も行われてきた。セミナーでは、実用段階となりつつある交通シミュレーション分析による業務支援について、シミュレーション利用が共通して抱える課題やノウハウ、期待等について、過去の業務事例を通して判明した点を議論する。

5. 質疑応答

お問い合わせ : VISITOK研究会

セミナー「交通シミュレーションの新たな展開」実行委員会
流通科学大学情報学部 森津

TEL 078-796-4946、E-mail Hideo_Moritsu@red.umds.ac.jp

中央復建コンサルタンツ(株)計画環境本部 飯田

TEL 078-796-4946、E-mail iida_y@cfk.co.jp

八千代エンジニアリング(株)大阪支店技術第二部 藤田

TEL 06-6945-9215、E-mail kz-fujita@yachiyo-eng.co.jp

富士通エフ・アイ・ピー(株)システム本部 山岸

TEL 03-5531-0303、E-mail yamagishi@fip.co.jp